

(公社) 日本地すべり学会 関東支部 平成 30 年度総会・シンポジウム開催報告

1. 実施概要

- (1) 開催日：平成 30 年 5 月 7 日（月）11：00～
- (2) 開催場所：東京大学工学部武田先端知ホール
（東京都文京区弥生 2-11-16）
- (3) 主催：(公社) 日本地すべり学会 関東支部
- (4) 来賓：
（一社）斜面防災対策技術協会関東支部長 上野雄一氏
- (5) 参加人数
総会：39 人、委任状 94 人（定足数 85 名以上）
シンポジウム：145 人
（支部会員 97 人、名誉会員 2 名、非会員 42 人、学生 4 人）
意見交換会：62 人
（支部会員 52 人、名誉会員 2 名、非会員 8 人）

2. 内容

(1) 総会

議長：相楽渉氏（(一財) 砂防・地すべり技術センター）
1 号議案では、第 3 期の支部役員の任期満了に伴い、第 4 期の支部役員が出席者の賛成多数で選任された。
支部長：櫻井正明（再任）
副支部長：若井明彦（再任）
監事：道畑亮一（新任）、小山兼広（新任）
2 号議案では、前年度の事業報告・決算報告が賛成多数で承認された。

3 号議案では、関東支部運営内規の一部変更（文書の保

管、会計書類の管理）が賛成多数で承認された。

また、運営委員・幹事の退任・選任、平成 29・30 年度代議員の交替、平成 30 年度の事業計画・予算、平成 32 年度研究発表会についてそれぞれ報告があった。

また、参考として、平成 30 年 4 月に発生した大分県中津市耶馬溪町の斜面災害について、落合地すべり学会会長より報告・説明が行われた。

(2) シンポジウム

「地形・地質からみた関東の地すべり」というテーマでシンポジウムを開催しました。

株式会社環境地質の稲垣秀輝様より「関東の地質と斜面災害」と題して、防災科学技術研究所の井口隆様より「空から見る関東の地すべり地形」と題して、農業・食品産業技術総合研究機構の中里裕臣様より「群馬県烏川中流域の巨大地すべり地形」と題して、防衛大学校名誉教授の中村三郎先生より「箱根神山の水蒸気爆発と岩屑流」と題してそれぞれ講演が行われました。

最後に、櫻井正明関東支部長をコーディネータとして総合討論が行われ、活発な意見交換が行われました。

(3) 意見交換会

東京大学農学部内レストランのアブルボアにおいて、参加者同士で近況報告や意見を交換し、親睦を深めました。

（文責：関東支部幹事 鈴木拓郎）



総会の様子



シンポジウムの様子